

## 「けんこうシップさせぼ21」の見直しについて

平成22年12月に「けんこうシップさせぼ21」の一部見直しをおこないました。

### 1 「けんこうシップさせぼ21」の見直し

平成14年度以降、本計画を推進してきましたが、国の医療制度改革をはじめとする保健・医療や健康増進に関する制度改革や法律の整備が相次いで進められたことから、一部見直しをおこなう必要が生じました。

今回の計画見直しにあたっては、新たに始まった健康増進施策などを追加するとともに、見直しがおこなわれた「健康日本21」や「健康ながさき21」の内容を踏まえ、計画の一部を見直しました。

#### 《見直し内容》

##### (1) 計画期間の延長

健康日本21や健康ながさき21および佐世保市の他の計画（佐世保市国民健康保険特定健診等実施計画など）との整合性を図るため、計画の終期を平成23年度から平成24年度（2012年度）に1年間延長します。

また、その評価を平成25年度以降の健康づくりの推進に反映させるものとします。

##### (2) 目標項目の変更

一部の目標項目について、目標項目を変更します。（別紙目標値一覧のとおり）

### 2 今後の重点的な取り組み

#### (1) 代表目標項目の選定

「けんこうシップさせぼ21」の目標項目の中から、代表目標項目を選定し、計画の目指すところを明確にします。

分野	代表目標項目
栄養・食生活	①朝食を欠食する人を減らす
身体活動・運動	②日常的に運動していない人を減らす ③日常生活の中で、運動を（身体を動かすことを）意識している人を増やす
休養・こころの健康づくり	④十分な睡眠をとっている人を増やす

アルコール	⑤飲酒経験のある子どもをなくす
たばこ	⑥喫煙経験のある子どもをなくす ⑦禁煙・分煙に取り組んでいる官公庁を増やす
歯の健康づくり	⑧むし歯を持つ子どもを減らす ⑨1年に1回歯科健診を受ける人を増やす
疾病予防	⑩特定健康診査を受ける人を増やす ⑪がん検診を受ける人を増やす

## (2) 生活習慣病の予防

佐世保市における死因の約6割を占める悪性新生物・心疾患・脳血管疾患を減少させるため、メタボリックシンドロームに起因する生活習慣病の予防およびがんの予防を推進します。8分野の中から次の4分野を重点的に取り組む分野とします。

①栄養・食生活    ②身体活動・運動    ③たばこ    ④疾病予防

## (3) 地域と職域の連携

「けんこうシップさせば21推進会議」の下部組織として位置づけた「地域・職域連携推進専門部会」を活用し、職域保健における健康課題の把握をおこなうとともに、就業者に対する保健事業の情報を共有し、就業者のニーズに応じた保健事業の実施について検討していきます。

## (4) 情報発信力の強化

市民が自ら健康づくりに取り組めるよう、健康づくりに関するわかりやすい情報提供に努めていきます。そのために、今までの広報手段にプラスして、新しい広報手段を活用し、情報発信力を強化していきます。

## (5) 今後の推進体制

市民が生涯にわたって、心身ともに健康で充実した生活を送るためには、全てのライフステージにわたって、自らの健康づくりへの取り組みと、行政をはじめ、各関係機関の支援が必要です。

そのために、保健医療団体、地域の団体、学校関係、職域関係、保険者から構成される「けんこうシップさせば21推進会議」において、関係課および関係団体間の情報交換を密にし、計画の進捗管理を的確におこなっていきます。

◆けんこうシップさせば21 目標値一覧表

分野	代表目標項目	項目	策定時	中間評価				見直し内容				最終評価		
				目標値	実績値	評価	測定年	測定方法	区分	現状値	測定年	測定方法	目標値	測定年
栄養・食生活		適切な量や必要な食品を知り、正しい食生活につなげる	知識が優先	知識と行動が伴う	—		健康に関する実態調査					知識と行動が伴う	—	
	◎	朝食を欠食する子ども(就学前)を減らす						新規	0.3%	18年	食育に関するアンケート調査	0%	22年	
	◎	朝食を欠食する子ども(小学2年生)を減らす						新規	1.7%	17年	食育に関するアンケート調査	0%	22年	
	◎	朝食を欠食する子ども(小学5年生)を減らす						新規	2.4%	17年	食育に関するアンケート調査	0%	22年	
	◎	朝食を欠食する子ども(中学2年生)を減らす						新規	4.9%	17年	食育に関するアンケート調査	0%	22年	
	◎	朝食を欠食する人(成人)を減らす						新規	5.6%	18年	食育に関するアンケート調査	2%	22年	
		1週間に3日以上そろって食事をする人を増やす	73.6%	80%	76%	C	18年	健康に関する実態調査					90%	23年
身体活動・運動	◎	日常的に運動していない人を減らす	59.0%	40%以下	56.7%	C	18年	健康に関する実態調査					15%以下	23年
		ウォーキングコースを持っていない人を減らす	70.1%	50%以下	72.8%	D	18年	健康に関する実態調査					30%以下	23年
	◎	日常生活の中で、運動を(身体を動かすことを)意識している人を増やす	65.4%	75%	64.8%	D	18年	健康に関する実態調査					90%	23年
		スポーツやレジャーを楽しんでいる人を増やす	33.1%	45%	35.0%	C	18年	健康に関する実態調査					60%	23年
の休健康・づくり	◎	十分な睡眠をとっている人を増やす	23.3%	38.5%	26.6%	C	18年	健康に関する実態調査					53.5%	23年
		自由な時間を持っていない人を減らす	4.1%	3.1%	4.7%	D	18年	健康に関する実態調査					2.1%	23年
		「こころ」の相談窓口の開設	なし	開設	随時対応	なし	18年	保健福祉部					増設	23年
		スクールカウンセラーの人員の増加	3人	8人	10人	B	18年	学校教育課					13人	23年
の健康づくり		環境保護に取り組んでいる人を増やす	47.6%	70%	86.3%	B	18年	健康に関する実態調査					90%	23年
		他人のマナーで不快な思いをした人を減らす	91.1%	80%	92.0%	D	18年	健康に関する実態調査					70%	23年
アルコール	◎	飲酒(よく飲む・たまに飲む)経験のある小学5年生をなくす	7.5%	0%	4.3%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート					0%	23年
	◎	飲酒(よく飲む・たまに飲む)経験のある中学2年生をなくす	22.1%	15%	13.3%	B	19年	思春期の子どもについてのアンケート					0%	23年
	◎	飲酒(よく飲む・たまに飲む)経験のある高校2年生をなくす	38.9%	20%	31.5%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート					0%	23年

分野	代表 目標 項目	項目	策定時	中間評価					見直し内容				最終評価		
				目標値	実績値	評価	測定年	測定方法	区分	現状値	測定年	測定方法	目標値	測定年	
アルコール		アルコールの害を知っている小学5年生を増やす	42.9%	70%	55.9%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		アルコールの害を知っている中学2年生を増やす	55.2%	80%	73.4%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		アルコールの害を知っている高校2年生を増やす	79.0%	100%	83.1%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		未成年にお酒を飲ませない大人を増やす	70.4%	85%	76.5%	C	18年	健康に関する実態調査						100%	23年
		未成年者の飲酒を注意する保護者を増やす	68.1%	80%	74.4%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		未成年者の飲酒を注意する地域の大人を増やす	58.3%	70%	未調査	-								100%	23年
		肝機能検査を受けていない人を減らす	46.3%	30%	50.9%	D	18年	健康に関する実態調査						20%	23年
たばこ	◎	喫煙(よく吸う・たまに吸う)経験のある小学5年生をなくす	1%	0%	1.5%	D	19年	思春期の子どもについてのアンケート						0%	23年
	◎	喫煙(よく吸う・たまに吸う)経験のある中学2年生をなくす	3.3%	0%	2.9%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						0%	23年
	◎	喫煙(よく吸う・たまに吸う)経験のある高校2年生をなくす	10.7%	5%	5.4%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						0%	23年
		たばこの害を知っている小学5年生を増やす	71%	100%	82.1%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		たばこの害を知っている中学2年生を増やす	86.9%	100%	92.7%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		たばこの害を知っている高校2年生を増やす	96.8%	100%	95.9%	D	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		<b>未成年者の禁煙標語、ポスターの応募参加校を増やす</b>	<b>20%</b>	<b>30%</b>	<b>70.8%</b>	<b>A</b>	<b>18年</b>	<b>長崎県</b>	<b>目標</b>	<b>・最終目標値を上方修正(50%⇒80%)</b>			<b>50%⇒80%</b>	<b>23年</b>	
		未成年者の喫煙を注意する保護者を増やす	88.7%	100%	91.3%	C	19年	思春期の子どもについてのアンケート						100%	23年
		未成年者の喫煙を注意する地域の大人を増やす	55.6%	70%	未調査	-								100%	23年
		家庭内で分煙をしていない人を減らす	25.6%	15%	27.4%	D	18年	健康に関する実態調査						0%	23年
		<b>禁煙希望者の禁煙成功率を上げる</b>	<b>50%</b>	<b>60%</b>	<b>測定不可</b>	<b>-</b>			<b>削除</b>	<b>・削除</b>			<b>75%</b>		
		禁煙希望者で「禁煙外来」を知っている人を増やす	20.5%	60%	28.5%	C	18年	健康に関する実態調査						80%	23年
		禁煙支援を行う施設を増やす	3ヶ所	増加	19ヶ所	B	18年	健康づくり課						増加	23年
◎	<b>禁煙・分煙に取り組んでいる官公庁を増やす</b>	<b>94.1%</b>	<b>100%</b>	<b>66.1%</b>	<b>D</b>	<b>18年</b>	<b>禁煙・分煙状況調査</b>	<b>文言</b>	<b>・「分煙」を「禁煙・分煙」に文言修正</b>			<b>100%</b>	<b>23年</b>		

分野	代表 目標 項目	項目	策定時	中間評価					見直し内容				最終評価		
				目標値	実績値	評価	測定年	測定方法	区分	現状値	測定年	測定方法	目標値	測定年	
たばこ		禁煙・分煙に取り組んでいる宿泊施設を増やす	61.3%	80%	59.4%	D	18年	タウンページに掲載されている宿泊施設を対象としたアンケート	文言	・「分煙」を「禁煙・分煙」に文言修正				90%	23年
		禁煙・分煙に取り組んでいるレストランを増やす	24.5%	35%	67.9%	A	18年	タウンページに掲載されているレストランを対象としたアンケート	文言 目標	・「分煙」を「禁煙・分煙」に文言修正 ・最終目標値を上方修正(50%⇒90%)				50% ⇒90%	23年
		喫煙マナーを不快に感じる人を減らす	85.3%	50%	86.5%	D	18年	健康に関する実態調査					20%	23年	
歯の健康づくり		必要な歯科保健医療情報を得られる人を増やす	63.8%	80%	81.5%	B	18年	健康に関する実態調査					90%	23年	
		ストレスが歯周病に影響を及ぼすと思う人を増やす	62.8%	80%	58.0%	D	18年	健康に関する実態調査					100%	23年	
		喫煙が歯周病を悪化させるという知識を持っている人を増やす	41.0%	80%	50.2%	C	18年	健康に関する実態調査					100%	23年	
		歯科医院から情報提供を受けるを増やす	11.7%	40%	27.0%	C	18年	健康に関する実態調査					70%	23年	
		歯科医院から歯磨き指導・情報提供を受けた人を増やす	58.8%	90%	63.9%	C	18年	健康に関する実態調査					100%	23年	
	◎	1年に1回歯科健診を受ける人を増やす	25.4%	80%	25.4%	D	18年	健康に関する実態調査					90%	23年	
	◎	むし歯を持つ子ども(3歳児健診の結果)を減らす	47%	30%	37.5%	C	17年度	子ども保健課(歯科健康診査に係る実施状況(厚労省)、母子保健実績報告書(県))					20%	23年度	
		3歳までにフッ素塗布を受けた子どもを増やす	41.8%	50%	37.7%	D	17年度	子ども保健課(3歳児健診問診票より)					70%	23年度	
		フッ素洗口を行う保育所、幼稚園を増やす	27%	50%	33.7%	C	17年度	子ども保健課(「よい歯の優秀園表彰」調査)					70%	23年度	
		昼食後にブラッシングする小学校を増やす	90.2%	100%	95.2%	C	17年度	学校教育課の調査報告より					100%	23年度	
		昼食後にブラッシングする中学校を増やす	28.5%	50%	52.0%	B	17年度	学校教育課の調査報告より					100%	23年度	
		歯科講話や歯磨き指導の機会をもつ中学校を増やす	57.1%	80%	56.1%	D	17年度	学校教育課の調査報告より					100%	23年度	
		フッ素洗口を行う小学校、中学校を増やす	1校	3校	1校	D	17年度	学校教育課の調査報告より					5校	23年度	
	フッ素によるむし歯予防効果について知っている人を増やす	42.4%	80%	44.8%	C	18年	健康に関する実態調査					100%	23年		
疾病予防		職場健診を年に1回受けている人を増やす	79.7%	85%	77.0%	D	18年	健康に関する実態調査					90%	23年	
		基本健康診査を受診する人を増やす	7.6%	13%	12.2%	C	17年度	基本健康診査受診率	削除	・削除				30%	
		メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の意味を知っている市民を増やす							新規	36%	18年	食育に関するアンケート調査	80%	22年	
	◎	特定健康診査(佐世保市国民健康保険)受診率を上げる							新規	25.6%	20年度	医療保険課	65%	24年度	

分野	代表 目標 項目	項目	策定時	中間評価					見直し内容				最終評価	
				目標値	実績値	評価	測定年	測定方法	区分	現状値	測定年	測定方法	目標値	測定年
疾病 予防		特定保健指導(佐世保市国民健康保険)の実施率を上げる							新規	45.6%	20年度	医療保険課	45%	24年度
		メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率を上げる							新規	なし	20年度	医療保険課	10% (20年度比)	24年度
	◎	胃がん検診を受診する人を増やす	4.4%	12%	10.4%	C	17年度	胃がん検診受診率					30%	23年度
	◎	肺がん検診を受診する人を増やす	5.8%	13%	10.6%	C	17年度	肺がん検診受診率					30%	23年度
	◎	子宮がん検診を受診する人を増やす	16.3%	20%	16.2%	D	17年度	子宮がん検診受診率					30%	23年度
	◎	乳がん検診を受診する人を増やす	7.2%	10%	10.4%	B	17年度	乳がん検診受診率					30%	23年度
	◎	大腸がん検診を受診する人を増やす	2.8%	10%	8.5%	C	17年度	大腸がん検診受診率					30%	23年度
		日ごろから健康に気をつけている人を増やす	66.4%	80%	71.8%	C	18年	健康に関する実態調査					90%	23年
		(広報させばから)健康情報を得ている人を増やす	18.3%	30%	15.7%	D	18年	健康に関する実態調査					50%	23年

中間評価の「評価」の見方

評価	基準	項目数	割合
A	中間評価時点で最終目標値を超えたもの	2 項目	3.5%
B	中間評価時点で中間目標値を超えたもの	7 項目	12.3%
C	改善したが中間目標値に達していないもの	29 項目	50.9%
D	変化なし or 策定時より数値が悪くなったもの	19 項目	33.3%
合計		57 項目	100.0%
—	未調査・測定不可	4 項目	

※測定年の「年」と「年度」の使い分けについて

- 市民アンケートなど、ある年の一時期において実施した調査については、「〇〇年」と記載している。
- 健診受診率など、1年度分のデータを集計したものについては、「〇〇年度」と記載している。